

# セル・オートマトンと有限要素解析による環境適応型一形態創生

## － 「計算」による形づくり －

木ノ村 護

1. “大きくたわめば、要素を増やし、小さくたわめば、要素を減らす”
2. 無駄がほとんどないエコロジカルな形状を自動的に作成するシミュレーションシステムの構築を目指しています。
3. 有限要素解析の入力データと要素の増減規則を用い、負荷に対応した形状を作ることができます。
4. 「人はただ自然をいかに取り入れるか、天の成せるものを、人の世にいかにして活かすか、ただそれだけである。」（北大路魯山人）

